

## 2024(令和6)年度 教育目標・目指す学校像

町田市立鶴川第一小学校  
校長 小林 繁

### 鶴川第一小学校 教育目標

◎やさしく ○かしこく ○たくましく

明治41年創立以来の歴史と伝統によって培われた校風を継承しつつ、この教育目標を達成するため、教職員の英知を結集し、学校経営を推進する。

集団の中で学ぶ学校としての役割を果たし、社会生活する上で必要な力を児童に確実に身に付ける。そのために、全職員が一丸となり、保護者や地域等と連携・協働し、特色ある教育活動を推進する。

### \* 目指す学校像

「3S (Study : 学ぶ喜び Safety : 安心安全 Scrum : 一丸となる )」をめざした学校  
【学校に通う全ての児童の個性を認め、一人一人の力が発揮できるよう教職員が一丸となって研鑽を重ね、各職のプロとしての誇りをもって児童の教育に向かう。さらには、児童、保護者と日々心を通わせ、信頼関係を築いていくことに尽力する。】

- ① 6年間の学習を通し、自主・自立の力を身に付けられる学校
- ② 安心・安全で、だれにとっても居心地のよい学校
- ③ 互いを認め合い、高め合い、協力し合う学校

### \* 目指す児童像

- ① やさしい心を持ち、自分も他者も大切に子ども 【やさしく「人間関係形成力」】
- ② すすんで学び、考えながら、課題に取り組む子ども 【かしこく「問題解決力」】
- ③ 自分から心や体を鍛え、前向きに行動する子ども 【たくましく「実践力」】

### \* 目指す教師像

- ① 進みつつある教師 【仕事に厳しく、改善向上への意欲を持ち、自己研鑽に努める教師】
- ② 明るく前向きな教師 【児童理解力・児童受容力・謙虚な姿勢を大事にする教師】
- ③ 協働して動く教師 【報告・連絡・相談・記録を確実にし、互いを尊重し協力し合う教師】
- ④ 服務事故ゼロへの強い意識をもつ教師 【教育公務員としての強い自覚をもった教師】

# 2024(令和6)年度 学校経営方針

## I 社会に開かれた教育課程の実現

### ●目指す学校及び子どもの姿を家庭や地域社会と連携・協働して教育課程を実施する。

#### (1) 地域の環境及び人材を生かした体験的活動を企画し、実施する。

- ▶ゲストティーチャーや地域ボランティアを積極的に活用する。
- ▶コミュニティスクールを通じて、本校の教育活動について意見交換し、連携・協働を進める。

#### (2) タイムリーで積極的な情報発信と受信・共有を行う。

- ▶学校だより等の通信、ホームページの更新などで保護者の安心できる情報を発信する。
- ▶保護者への連絡・相談を誠実に行い、迅速に対応する。

## II 確かな学力の育成

### ●授業改善を進め、基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得と思考力、判断力、表現力等の育成とともに、主体的・対話的で深い学びを実現する。

#### (1) 授業をデザインする8つの取組を踏まえ、子どもが「分かる できる つくる 楽しい授業」を展開する。

- ▶個に応じた指導を徹底し、つまずきを取り除き、知識・技能を定着させる。
- ▶自分の考えを多様な方法で表現させ、協働的な学びを充実させる。

#### (2) 学習への興味・関心を高め、主体的に学び続ける子どもを育てる。

- ▶充実した言語活動の指導の工夫を研究テーマとし、主体的に学びに向かう児童を育てる。
- ▶クロームブックの活用を推進し、めあてに応じてICTを活用できる力を育てる。

## III 豊かな心の涵養

### ●多様性を尊重し、自分と共に他者を大切にできる意識・意欲・態度を育てる。

#### (1) 生命を大切にする心や他人を思いやる心、規範意識等を育む。

- ▶人権を相互に尊重する姿勢を育て、いじめを絶対に見逃さない生活指導を徹底する。
- ▶道徳科の授業では「自己の振り返りの時間」を重視し、道徳的実践力を育てる。

#### (2) 児童の自己有用感を高め、人との関わりを通して自分も友達も大切にできる態度を養う。

- ▶委員会、クラブ、異学年交流活動、実行委員会、係活動など子どもの主体的な活動を重視する。

#### (3) キャリア教育、特別支援教育を推進する。

- ▶カリキュラム・マネジメントを行い、「考える・伝える」ことを大切にした実践を年間指導計画に基づいて行う。
- ▶全教職員が特別支援教育について理解を深め、一人一人の教育的ニーズを把握し、学校全体で支援を行う。

## IV 健やかな体の育成

### ●正しい生活習慣を身に付けさせ、丈夫な体とたくましい心を育てるとともに、自助・共助・公助の力を身に付ける。安全指導・安全教育を充実する。

#### (1) 運動の日常化と健康教育及び食育の充実を図り、基礎体力の向上を図る。

- ▶体力テストの結果分析を生かした体育科の授業を実施し、運動の日常化を行う。
- ▶家庭と連携して、生活リズムの定着を図り、健康教育と食育を推進する。

#### (2) 校内外の安全な生活環境を整え、自分を守り相手を守る安全教育の実施と危機管理体制を確立する。

- ▶「鶴川第一小 生活のきまり」の約束を守って生活できるように全教職員が連携して指導する。
- ▶危機管理情報(健康・問題行動・安全等)を校内で共有する。
- ▶交通事故防止や不審者対応の安全意識を高め、ネットマナー等の向上を図る。